



こどもの四季

第4号
2019年
12月1日発行

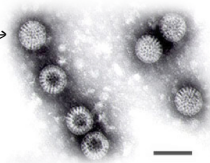
編集: 副院長 岡本友樹

今年も残りわずかですね

年号が令和となった1年もあっという間でした。皆さんにとってこの1年はいかがだったでしょうか？ 師走の忙しい時期かと思いますが、インフルエンザも流行ってきておりますのでお体に気をつけてお過ごしください。今回の「こどもの四季」は嘔吐下痢症（急性胃腸炎）と、医師2人の音楽ユニット Insheart（インスハート）の紹介、院長コラムでは童話『幸福な王子』についてのお話です。

1,000億個！

電子顕微鏡でみたロタウイルス→



何の数かわかりますか？

1gの便に含まれるロタウイルスの数なんです。すごい数ですね。

さらにビックリなことにロタウイルスはたった10～100個が体内に入り込むことで感染します。世界では発展途上国を中心に1年間に約50万人の乳幼児がロタウイルス感染症で死亡しています。日本を含め先進国で命を落とす子は少ないですが、5歳までにほぼ全ての子どもがロタウイルスに感染すると考えられています。

冬になると嘔吐下痢症が流行します。医学的には急性胃腸炎といい、いわゆる「お腹の風邪」です。ロタウイルスもその1つです。嘔吐下痢症の原因には他にも多くのウイルスや細菌があります。ロタウイルスは特に感染力が強いですが、他のウイルスも似たようなものと考えて良いでしょう。また、ノロウイルスや細菌(サルモネラやカンピロバクターなど)は食物を通して感染し食中毒の原因となります。

嘔吐下痢症の症状はその名の通り嘔吐と下痢です。腹痛や発熱がみられることがあります。ウイルスや細菌の種類に関わらず特別なお薬は必要ありません。水分をこまめに飲み、制吐剤や整腸剤を使用して様子を見ます。『おしっこが出ない』『泣いても涙が出ない』『ぐったり』『肌がカサカサ』などは脱水になっている可能性があります。脱水の予防にはOS-1[®]やアクアライト[®]などの経口補水液を少しずつ飲むことが大事です。経口補水液は沸騰した湯冷し1リットルに砂糖小さじ6杯と塩小さじ半分を加えることで自分で作ることもできます。

ウイルスは吐物や便、唾液などから感染します。次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤)で吐物や便で汚れた衣類・床などを消毒する必要がありますが、10～100個のウイルスで感染してしまうため感染を防ぐことは非常に難しいでしょう。家庭内や保育園などで感染が広がることは仕方のないことかもしれません。

やはり嘔吐下痢症で重要なのは『水分をこまめに摂取し脱水を予防すること』だと言えます。なお、嘔吐下痢症は原因ウイルスの種類に関わらず、治療や感染を防ぐための注意点が同じであり当クリニックでは重症例でなければロタウイルスやノロウイルスの迅速検査は必要ないと考えています。(副院長)

現役医師2人による音楽ユニット「Insheart」

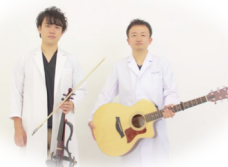
前回のこどもの四季(第3号)で紹介した映画「いのちスケッチ」が全国で公開中です。その映画の主題歌を歌っている2人組みの音楽ユニット「Insheart(インスハート)」ですが、実は彼らは福岡で働くお医者さんなんです。

医療だけではなく、音楽を通して病気の方の心までも癒したいという思いで活動を開始し、命や家族の絆をテーマとした楽曲を制作しています。難病の方やそのご家族のお話、長崎の被爆者の方のお話などを通して制作された楽曲もあり、多くの学校や医療施設で講演やコンサートを行なっています。10月にはニューヨークに招かれて演奏をしていました。

2人は私の学生時代の後輩で、当クリニックの20周年のイベントではボーカルの Toshi さんに演奏をしていただきました。どの楽曲も2人の優しい気持ちに溢れたステキな曲ばかりです。右のQRコードからYouTubeで視聴できますので、ぜひ一度お聴きください。診察の際に感想などをお伝えいただくと嬉しいです。

(副院長)

InsheartのYouTube →



院長コラム

『幸福な王子』

クリスマスが近づくと決まって思い出す童話があります。私は子どものころあまり読書癖はなかったのですが、この話はよく思い出します。それは、アイルランド出身の文人オスカー・ワイルドによる子供向けの短編小説『幸福な王子』です。有名な童話なのでお読みになった方も多いでしょう。この童話のどこが私をとらえて離さないのでしょうか。



【あらすじ】

街の中心部に高くそびえ立つ自我を持った王子像が、あちこちを飛び回って様々な話をしてくれるツバメとともに、苦労や悲しみの中にある貧しい人々のために、自分の目となっているサファイアや腰の剣についているルビーなどの宝石、自分の体を覆っている金箔を分け与えていくという思いやりと自己犠牲の物語です。

最後は、宝石もなくなり金箔も剥がれてみすばらしい姿になった王子と、南に渡っていく時期を逃して寒さに凍え死んだツバメが残されます。

この話には結末が二つあります。一つは、美しい姿の王子を誇っていた街の人々が、みすばらしくなった王子を溶鉱炉で溶かし、死んだツバメと一緒にごみ溜めに捨てたことです。もう一つは、天国から様子を見ていた神様に「この街で最も尊いものを持ってきなさい」と命じられた天使が王子の鉛の心臓と死んだツバメを持ちかえり、二人が天国で永遠の命を授けられたことです。

どうですか。いいお話でしょう。神様を信じない私も目頭が熱くなりました。そして、貧しい人々にすべてを分け与えた王子とツバメをごみ溜めに捨ててしまった街の人々に憤りを覚えました。いま世界中で格差と貧困が拡大していると言われてます。作者は、子どもたちにこの話から何を感じてほしかったのでしょうか。王子とツバメの貧しい人々への博愛の心の大切さも、その一つです。子どもにも大人にも何かを考えさせてくれるお話です。クリスマスの贈り物にいかがですか。

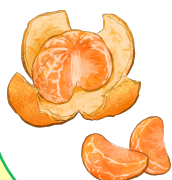
(院長)



Rose Memory

蜜柑の香せり 冬がまた来る
街をゆき 子どもの傍を 通るとき

この短歌は木下利玄の短歌です。これから冬が来るといふ時期の幸せな情景、また冬に立ち向かう決意なども感じられます。子どもの時に教科書で習い、何十年も好きな短歌です。



お知らせ♪

<年末年始の診療について>
12月29日から1月3日は休診です。

【ローズホールイベント】

子育てカフェ

日時：12月10日(火) 13時～14時半

参加費：無料

内容：家庭内の事故と対応

タティングレース教室

日時：12月21日(土) 13時～15時

参加費：1,000円/人 (材料費)



おかもと小児科クリニック

〒813-0025

福岡市東区青葉2丁目8番34号

TEL: 092-691-0012

FAX: 092-691-0013

HP: <http://おかもと小児科クリニック.com>